



# 会報

DISTRICT 353  
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

## 鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA



マツタケ

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや  
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
電話 0235 (2) 5775

会長 鈴木善作  
幹事 高橋辰美

### Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 779 号 1974. 11. 12 (火) (曇) No.20

会報はご家族みんなで読みましょう

#### ◆出席報告

##### 本日の出席

会 員 数 68名  
出 席 数 48名  
出 席 率 70.59%

##### 欠 席 者

阿宗君、風間君、安藤君、早坂(徳)君、佐藤(衛)君、黒谷君、小池君、嶺岸君、齋藤(得)君、齋藤(信)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)、笹原君、高橋(正)君、津田君、中野(清)君、富樫君、鷲田君、藪田君、佐藤(正)君

##### 前回の出席

前 回 出 席 率 77.94%  
修 正 出 席 数 62名  
確 定 出 席 率 91.18%

#### ◆マークアップ

笹原君一仙台 R・C  
早坂(源)君一酒田 R・C  
市川君、山本(正)君、吉野君、嶺岸君、三井(徹)君、菅君、中野(清)君一鶴岡西 R・C

#### ◆ビジター

半田茂弥君、菅原年雄君、石寺龍象君、小林忠康君、工藤武樹君、佐藤勤一君一鶴岡西 R・C

◆点 鐘 12:30 鈴木会長

#### ◆ロータリーソング

それでごそロータリー

◆本日のビジター紹介 S・A・A

◆本日のゲスト紹介 会 長  
(1) 工業高校……菅原校長  
……阿部先生

(㊦) 東根クラブ交換学生……グレニス  
当クラブ交換学生 …… パーバラ

◆会長報告

◆ゲストスピーチ……工業高校米国より帰朝  
報告グレニス嬢挨拶

◆幹事報告

◆諸事連絡

◆本日の出席報告……………出席委員会

◆ロータリー情報委員会

張紹淵君 山本隆男君 津田晋介君

◆彼らに家庭気分を

これは743-Jのロータリー文献であります  
それには、他国から来ている若人達の歓待仕  
方がかかれています。これらの若人達に家庭  
気分を味わらせることによって、主人役のロー  
タリアンは、まざまざと、じかに、接触す  
る結果として、世界というものを今まで以上  
に身近かに感ずるようになりますとあり、楽  
しい経験であるとあります。それには、①近  
くの大学から留学生の名簿を貰うことや、②  
留学生を自身の家で、もてなそうとする有志  
会員の名簿を作ることや、③留学生に個人的  
な招待状を送ったり、④留学生を車で運ぶ手  
配をすることをしたり、⑤接触を深めて、そ  
の両親に手紙を出すことを計画するものよい  
ことなどが書かれていて、海外留学する若人  
達は特別の能力や創意をもっているとあって  
我々は常に、寛大で、心から我らに好意をも  
つことが大切ですとありました。その他多く  
の歓待の仕方が示唆され、参考しましょう。

◆鹿児島市、鶴岡市兄弟都市盟約記念式典に  
出席して 会長

去る11月6日11時36分北国にて鹿児島より

第4次鶴岡市訪問親善使節団が22名到着、内  
鹿児島ロータリークラブよりは鹿児島庄内会  
顧問で又鹿児島銀行頭取鷹野孝徳さんが1名  
のみでした。駅には白井鶴岡市長始め齋藤助  
役、榎本市会議長外、酒井忠明氏、犬塚庄内  
鹿児島会長、鶴岡商工会議所会頭代理海東専  
務外、会員多数御出迎えに参列、又鶴岡市第  
二小学校児童の歓迎ブラスバンドでにぎやか  
に迎えました。

当日14時より致道館に於て兄弟都市盟約記  
念式典開催にロータリー姉妹クラブ代表とし  
て出席致しました。定時に鶴岡市齋藤助役の  
開式のことば、鶴岡白井市長の歓迎のことば  
鹿児島市長代理海江田助役のあいさつ

祝辞は鶴岡市議会議長、鹿児島市議会議長、庄  
内鹿児島会長犬塚氏、鹿児島庄内会長野津氏  
鹿児島庄内会顧問鷹野氏。

交歓握手には両市長、両市会議長、酒井忠  
明氏と島津修久氏と。

閉会のことば、鶴岡収入役の村田君で式典  
修了、引き続き歓迎のことばに鶴岡ロータリー  
クラブ会長とあり弱りました。鹿児島クラブ  
より沢山御出でになられるものと期待して居  
りましたが鷹野孝徳氏御一人で淋しい様です  
が、此の次は沢山御出で下さる様御クラブの  
皆様に御願い致しますと鹿児島ロータリー会  
員の鷹野氏と堅い握手を交わしました。1時  
間以上も鹿児島組と鶴岡組と対面正座したの  
で足がしびれて立てなくなりました。夜は湯  
田川のみや旅館に宿りました。

7日は善宝寺、羽黒山等参拝、17時20分新  
茶屋にて歓迎交換会を開催、クラブよりは会

長、幹事、佐藤伊和治氏、安藤定助氏、海東与藏氏、小花盛雄氏出席致しました。

1. 開会のことば 鶴岡市助役
2. 歓迎のことば 鶴岡市長
3. あいさつは 鹿児島市長代理  
海江田助役
4. 参加者 108名 余興として薩摩神刀館師範上野光夫さんの舞あり、庄内からは鶴岡市酢漿太鼓保存会の太鼓打ち合せあり盛會裡に終えました。夜は由良に宿泊。翌8日の朝8時39分いなほ1号にて元気で帰国しました。

#### ◆智勇三略「酢漿太鼓」

甲斐国主武田信玄西上を志し永禄11年、家康、信玄駿遠分割の同盟を結んだが、之を一方向的に破り、元亀元年正月、深沢、花沢、藤枝、徳野、駿江を平定した。

家康は上杉謙信と結んで活路を求めんとし元亀元年八月稲葉山権現堂叶坊浄全なる山伏を謙信に遣し互に提携して信玄を挾撃すべく申込んだ同年十月更に誓書を送った。謙信は家康との約を践み3年4月信州長沼に入った而して信長、家康、謙信の新三角同盟が成立した。

時元亀3年10月3日信玄は甲信の精兵2万と北条の援兵2千、歩部堂々斎甲府を発し、伊奈より青崩峠、秋葉を経て遠江に向い、別に山形昌景をして兵5千東参河より遠江に出てこれに会せ、信玄遠江に入り只来飯田を攻めて之を降し更に進み12月19日2俣城を陥れ野部を発して天竜川を渡り、三方原を経て参河の東部に出んとした。

家康は謙信に約し織田氏に向って援兵を請い合して1万2千浜松城を出て三方原に至る22日の事である。陣を屏崖の北に布きこれを激撃せんとし三方原の激戦となりこの日の午後4時に始り6時には家康の兵敗れ、武田軍（隔翼の陣）が勝利をおさめ、怒濤の迫撃で家康の居城（浜松城）に迫った。家康は漸く城に入ったが城門を閉じること出来なかった。然し、城代酒井忠次公はこの敗戦に少しも動じなかった。「酢漿」の智将忠次公は「暮れ六つ」の太鼓を自ら打とうと決心して、鐘楼に登ってほら貝の音に続いて時の太鼓を打った。城の内外は常に変わらない相平の響を伝えている。

信玄はこれ聞き盟約により謙信背後よりの強襲を受ける、車懸の陣太鼓を連想し（これが有名な幻の陣太鼓）城門の外に軍兵を停めて、包囲の陣を構え24日の朝には退陣し、徳川勢はようやく事なきを得て再起をはかることができたのであった。

この智勇三略の陣太鼓こそ酒井の太鼓である。格調高き沈勇の平和の旋律こそ徳川三百年の礎となった「酢漿太鼓」である。

鶴岡市酢漿太鼓保存会

#### ◆国際ロータリー

##### ロータリー財団について

ロータリー財団に対し、第1回分の寄付金として100ドルを納めて、あと1,000ドルに達するまで引続き寄付を行なうべきことを表明した者は、「ポール・ハリス準フェロー」とされます。また、ある人のために前記のような寄付が表明された場合、その人についても

同様であります。第2回目からの寄付金額については、金額は任意とし、本人のきめた方法によることとされています。

寄付金額の合計が1,000ドルに達したときその人は「ポール・ハリス・フェロー」証明書とメダルおよび章が贈られます。この方式によって行なわれた寄付金は、すべて、「ポール・ハリス準フェロー」の所属するロータリー・クラブの寄付金に自動的に算入されそのクラブのパーセンテージ順位の引上げに寄与することになります。

次頁の書式は、この方式による寄付を希望する人に使用していただくようにしたものです。これに100ドルを最低額とする第1回の寄付金を添えて、下記へお送り下さい。

THE ROTARY FOUNDATION

1600 RIDGE AVENUE

EVANSTON, ILLINOIS 60201, U.S.A.

(この寄付は、米国ドルかまたは国際ロータリーの定めた為替相場による相当額のその他の通貨で行なうことができます)

#### ◆ポール・ハリス準フェロー

私は、米貨1,000ドルを所要の合計金額とするポール・ハリス・フェローとなることを目的として、ロータリー財団に対する第1回の寄付金をここに同封いたします。

第1回寄付金としてを\_\_\_\_\_払い込みます。  
(最低額米貨100ドル)

次回からの寄付金として\_\_\_\_\_ドルを

- 四半期ごとに
- 半期ごとに
- 毎 年

払い込むことといたします。

- 残額の払い込みについては、私の都合による時期と金額によって行なうことといたします。

寄付額が1,000ドルに達したときは、私は「ポール・ハリス・フェロー」として認められるものとします。

私は\_\_\_\_\_ロータリー・クラブの会員であります。

年月日 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

市町村県 \_\_\_\_\_

国 \_\_\_\_\_

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。